



大志ゆめみん

No.10

〒390-0851 松本市島内 3986 Tel.0263-40-1367

文責：校長

全国学力・学習状況調査の結果まとめ

令和7年度 松島中学校学校教育目標

学ぶ楽しさ、友との触れ合いを感じられる学校づくり

4月17日(木)3年生を対象にした全国学力・学習状況調査が行われました。この調査の目的は、文部科学省や教育委員会が教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることです。その一方で、学校においては、この調査結果を活用し、教師の教科指導の充実と生徒の学習状況の改善につなげることが求められています。

該当学年には1月に詳しい結果をお知らせしましたが、本校の実態と今後の取り組みに係る大事な調査結果でありますので、学校だよりでも概要をお知らせいたします。

■■結果の概要■■

【国語】 県と全国平均の正答率をわずかに上回りました。**考察**

- 「話すこと・聞くこと」の領域では正答率が高く、学習が定着していると感じますが、「資料や機器を用いた話し方の工夫を捉えること」を問う問題のみ5ポイント以上下回っていました。総合的な学習の時間も含め、資料や機器を用いて話す活動を増やしていきたいと考えます。
- 事象や行為を表す語彙についての理解は高い結果でしたが、「書くこと」の領域に課題があると感じました。自分の考えを書くことはできているので、根拠を明確にして書く学習を進めていきます。

【数学】 県と全国平均の正答率とほぼ同程度でした。**考察**

- 用語の意味を誤って理解していたことが誤答の要因となっているため、今後は、定義・具体例・反例を関連づけて扱い、言葉の理解を確実にする指導を充実させたいと考えます。
- 学習内容が理解できている生徒とそうではない生徒の二極化が現れた結果でした。個別最適な学習を進めていきます。

【理科】 県と全国平均の正答率を少し上回っています。**考察**

- 「知識・技能」を問う問題では正答率が高かったことに対して、「思考力や表現力の活用」を問う問題には課題がありました。特に、生じた疑問や問題を解決するための課題を設定する力をつけるために、授業では予想をもたせることを念頭に探究的な学習を位置づけていく必要があると考えます。
- 「生命」を柱とする領域に比べ、目に見えない「粒子」や「エネルギー」を柱とする領域に課題が現れました。身の回りの物質の変化や現象について、モデルをつかって見えないものの世界の理解が深まるよう丁寧に指導していきます。

【質問紙調査】

- 本校生徒は、**学校生活への肯定感が高く、学習習慣も概ね良好**であることがうかがえる結果となりました。約87%の生徒が「学校は楽しい」と回答し、県・全国平均を上回っています。また、休日の学

習時間も多く、塾や家庭教師の活用を含めて家庭学習が定着している様子が見られます。ICT 機器の活用も進んでおり、学習環境の整備と活用の浸透が図られていることが分かります。さらに、地域の大人との関わりも豊かで、学校が地域と連携しながら教育活動を展開できていることが強みです。一方で、友人関係への満足度や、総合的な学習の時間における「自ら課題を立て探究する力」には課題が見られました。固定化しがちな人間関係をゆるめる工夫や、課題設定から情報整理・発表までを主体的に行う探究的な学びの充実が今後の重点となります。総じて、「安心して学べる環境」と「学習習慣の定着」は成果として表れており、今後は、主体的・探究的な学びと人間関係づくりの質を高めていく段階にあると考えられます。

本校の支援

本校では「明日も来たくなる学校」を目指しています。

(1) 魅力ある授業

①分かる授業（理解）…明確な目標や授業展開、ICT 機器の活用、具体的な例示等

②関わる授業（主体性）…考えたくなる発問の工夫、対話の時間を確保する等

③深まる授業（思考）…説明する活動、考えを更新できる対話、振り返り、次に繋がる学習等

以上の視点をもって、全職員で授業改善に取り組んでいます。職員間で授業の相互参観をして助言をしあうことや、外部研修で学んだ内容を報告会で学び合うことを通して日々改善を図っています。また、ICT 機器の活用については、生徒同士で考えを共有したり、学習活動を録画して課題提出に活用したりしている教科もあります。ICT 支援員のサポートを受け「ロイロノート」の活用も進んでいます。

(2) 安全な学校

学期に1度「いじめに関わるアンケート」を実施して、生徒たちの状況を確認しています。また教育相談や日々の生活ノートの記録から出される子どもたちの声を大切に支援しています。今回の調査で「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」という質問に「当てはまらない」「どちらかといえば、当てはまらない」と答えた生徒が県と全国平均よりも多かったことから、誰にでも相談できる環境を整えていきたいと考えます。

(3) 居場所があること

「自分が必要とされている」という感覚を生むために、生徒会活動や係活動を「主体的な活動」としてさらに充実させます。目立つ役割だけでなく、教室での係活動や委員会の当番活動等のあまり目立たない役割にも価値を見つかることができるよう見守ります。また、対話活動では「安心して話せる経験」を積ませるために、正解が1つでない問いや感想・考えを共有する内容を増やしていきます。

学校評価アンケートまとめ

本校では、「よりよい学校づくり」を目指し、毎年学校評価アンケートを実施しております。保護者の皆様、生徒の皆さんからいただいた声は、学校にとって何よりの指針です。ご協力に心より感謝申し上げます。

保護者の皆様からのアンケート回収率は5割に至りませんでした。このたび結果がまとまりましたので、概要をお知らせいたします。来年度は「共創」を学校づくりの柱の1つとしていきたいと考えております。生徒を真ん中に、保護者・地域の皆様と学校が、これまで以上に共に力を合わせていきたいと考えております。ぜひ多くの方の声をいただき、学校づくりに役立てていただけますよう、1年間そのような目で生徒・学校を見ていただき、学校評価アンケートにご協力いただけますようお願いいたします。

令和7年度 学校評価アンケート結果

保護者回答		肯定的 否定的		生徒回答		肯定的 否定的		学校の考え	
質問① 生徒は、楽しく、安心して学校生活を送っている。		89%	10%	1%		83%	14%	3%	①の項目では、肯定的な回答が保護者89%、生徒83%でした。比較的高い割合となっています。学級活動や道徳、行事等を通して、互いを認め合う雰囲気を高めてまいります。また、生徒の実態に応じた指導や支援を行い、生徒が自らの学びを実感できるように工夫してまいります。
質問② 学校は、わかりやすい授業を心がけ、学力向上に力を入れている。		73%	21%	6%		83%	16%	1%	②の項目では、肯定的な回答が保護者73%、生徒83%でした。生徒理解による生徒の実態を踏まえた授業づくりと、更なる授業改善に向けた校内研修を充実させてまいります。また、生徒アンケートや振り返りを活用し、授業改善に生かしてまいります。
質問③ 生徒は、家で宿題や自主的な学習等に進んで取り組んでいる。		63%	37%	0%		65%	29%	5%	③の項目では、肯定的な回答が保護者63%でした。生徒が探究的な学びを進めることができるように手だてを考えるとともに、持ち帰りを進めるタブレットを活用した学習のまとめや発表の仕方、更には発信をする工夫を考えることで、自主的・自発的な学びを進めることができるようにしていきます。
質問④ 集団生活に必要な約束や決まりを守って学校生活を送っている。		95%	4%	1%		93%	6%	1%	④の項目では、肯定的な回答が保護者95%、生徒93%でした。高い自律意識のもと、身なりを整えきまりを守って日常を送る意識が定着し、安定した学校生活を送ることができています。今後は継続していけるよう努力してまいります。
質問⑤ 学校職員は、生徒自身のことや学校生活に関して、生徒の相談に応じてくれる。		81%	13%	6%		65%	29%	5%	⑤の項目では、肯定的な回答が保護者81%、生徒が65%でした。生徒の否定的な回答が29%となっており今後も、生徒との温かく穏やかな信頼関係づくりを進めます。また、生徒個別に声をかけ、教育相談や生徒アンケートに真摯に耳を傾けてまいります。
質問⑥ 学校は、学校行事や学年行事などを通して、集団作りを意識した教育活動を行っている。		89%	7%	4%		89%	11%	0%	行事の目的や意義を事前に生徒と共有し、生徒が主体的に関わる役割分担を工夫することで、一人一人が責任をもって活動に関わり役割を担えるようにします。また、協力して取り組んだ良さや課題を共有することで、互いを認め合い支え合う集団を目指してまいります。
質問⑦ 学校は総合的な学習の時間や生徒会活動において、地域との関わりを意識した教育活動を行っている。		71%	18%	14%		82%	16%	2%	⑦の項目では、肯定的な回答が保護者71%、生徒が82%でした。活動後に振り返りの時間を設け、「地域と関わって学んだこと」「自分や地域の変化」を言語化するとともに、その内容を学級通信や発表資料として活用してまいります。また、生徒自身が地域とのつながりを実感できるよう工夫してまいります。
質問⑧ 学校だよりや学年通信などで、学校の教育方針や生徒、学校の様子を知ることができる。		87%	11%	2%		87%	11%	2%	今後も学校だよりや学年通信等を通して、本校の教育方針や教育活動のねらい、生徒一人一人の成長の様子、学校生活の様子が伝わるよう、継続して情報発信に努めてまいります。ご家庭と学校が連携しながら生徒を支えていくためにも、ぜひご一読いただき、ご理解とご協力をお願いいたします。
質問⑨ お子さんは、部活動に意欲的に取り組んでいる。		91%	6%	3%		74%	6%	19%	⑨の項目では、肯定的な回答が保護者91%、生徒が74%でした。生徒が、心身ともに成長し充実した時間を過ごすことができるよう、目標設定や振り返りの機会を適切に配置しながら、達成感の積み重ねを繰り返してまいります。
質問⑩ 生徒は、家で学校のことをよく話す。		69%	31%	0%		69%	31%	0%	⑩の項目では、肯定的な回答が69%でした。授業や行事・学級活動等で、生徒が達成感や成功体験を得られる活動を意図的に設定するなど、ご家庭での会話の中で、生活の様子が自然と語られるような話題提供を行うと共に、更に充実した学校生活を送れるようにしてまいります。
質問⑪ 生徒と、自宅からお子さんの夢や将来について話をします。		68%	31%	1%		68%	31%	1%	
質問⑫ 生徒は、メールやSNS、ネット利用について危険性を認識し、家庭で決めた約束を守ってそれらを使用している。(生徒がそれらを使用している環境にあるご家庭のみ回答)		83%	15%	1%		83%	15%	1%	更に情報モラル教育の充実を図り、実際に起こりやすいトラブル(個人情報の流出、誹謗中傷、なりすまし、課金トラブルなど)を、動画や事例を使って学ぶ機会を提供してまいります。また、「自分だったらどうするか」を折に触れて伝えてまいります。